

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 1 日

島根県知事
丸山 達也 殿



提出者
住 所 島根県出雲市小山町787番地
氏 名 出雲グリーン工業株式会社
代表取締役 黒目 孝彦
電話番号 0853-23-2355

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	出雲グリーン工業株式会社
事業場の所在地	島根県出雲市小山町787番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	1,317百万円
③ 従業員数	20人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場 ↓ 収集運搬業者（自社運搬・委託業者） ↓ 中間処理業者（委託業者） ↓ 最終処分業者（委託業者）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者 (代表取締役)	・廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する事項の決定・承認
廃棄物管理者 (役員)	・廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物処理に関する事項の検討 ・廃棄物処理業者の選定・委任契約の締結
現場代理人	・現場で発生した廃棄物の把握・管理 ・廃棄物処理業者の選定 ・マニフェストの交付・管理 ・現場関係者への指導等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙①参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙①参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 石綿や廃石膏ボード、タイルは他の廃棄物に混入しないように分別、保管を実施。その他の種類の廃棄物についても出来る限り分別、保管を実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記内容を継続実施予定。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 4 年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙②参照		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙②参照		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

※別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現 状		【 前年度（令和４年度）実績 】							単位：t	
		産業廃棄物の種類	がれき類	硝子・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	合 計
	排出量		661.59	13.23	2.98	54.86	10.60	1.20	364.05	1,108.51

（これまでに実施した取り組み）

- ・ 昨年度と比べ、規模の大きい解体を含む工事が重なり総排出量が増加してしまったが、発注者や処理業者との協議の上、排出量の抑制に努めている。

② 計 画		【 目標 】							単位：t	
		産業廃棄物の種類	がれき類	硝子・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	合 計
	排出量		300.00	10.00	2.00	50.00	10.00	1.00	150.00	523.00

（今後実施する予定の取り組み）

- ・ これまでの取り組みを実施した上、再生利用や梱包等の簡略化を他の事業者と協議し、実行に移せるよう努めていく。
- ・ 解体工事の有無や規模によって変動はするが、前年度比8割～5割を目標に毎年排出量を減らしていきたい。

※別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】										単位：t
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	硝子・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず		合 計
	全処理委託量	661.59	13.23	2.98	54.86	10.60	1.20	364.05		1,108.51
	優良認定処理業者への処理委託量	8.97	4.73	0.70	0.00	10.60	0.00	2.70		27.70
	再生利用業者への処理委託量	551.03	0.60	0.70	54.86	0.00	0.00	71.01		678.20
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0.00	0.60	0.70	0.00	0.00	0.00	9.96		11.26

（これまでに実施した取り組み）

- ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。

【目標】										単位：t
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	硝子・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず		合 計
	全処理委託量	300.00	10.00	2.00	50.00	10.00	1.00	150.00		523.00
	優良認定処理業者への処理委託量	30.00	5.00	2.00	20.00	10.00	1.00	50.00		118.00
	再生利用業者への処理委託量	300.00	1.00	2.00	50.00	0.00	1.00	130.00		484.00
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0.00	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	20.00		23.00

（今後実施する予定の取り組み）

- ・再生利用が可能な廃棄物は、再生利用業者へ処理委託する。
- ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。